

バス研修 たじま高原植物園&木の殿堂

10月16日緑花クラブ会員31名が参加し、標高1039mの瀬川山 中腹に広がる高原地帯にあるたじま高原植物園と木の殿堂を訪問しました。たじま高原植物園ではガイドさんの案内で、自然に生息している樹木や高原ならではの草花をじっくり観察することができ、中でも兵庫県の天然記念物に指定されている和池の ^{ワチ}大カツラと湧き水には強い生命力を感じました。木の殿堂では大自然と一体感のある建物自体や昔の家屋から小さな工作物まで、木のもつ可能性の大きさに感動しました。



幹周り16mの”和池の大カツラ”に圧倒され、ガイドさんの案内で大自然に生息する高原特有の樹木や草花を体感



”木の殿堂”は「森と海と太陽」をテーマに安藤忠雄氏が設計、日本の木造建築を代表する柱などで構成、垂直方向に伸びる空間は太陽の光を受け成長する森の生命力を、中心の池は生命の源である水を、上方には青い空と太陽を表現

会員コラム

～水曜会の活動について～ 福島照明

加古川緑花クラブの活動として、主に加古川市8つの街角花壇の維持管理、花とみどりのまちづくり講座の運営がありますが、加えて日岡山公園のボランティア活動を毎週水曜日に実施しています。公園内の美化・清掃作業、フロント花壇の植栽や手入れ、コバノミツバツツジの手入れ、腐葉土づくり、門松づくり、氷丘小学校の環境体験学習の手伝いなど、年間を通して様々な活動があります。作業のあとの会員同士の情報交換やたわいもない語らいは楽しみとなっています。日岡山公園を訪れてみたくなる場所として魅力的な公園になるよう、是非会員のご参加をお待ちしています。

